

「赦し」

十字架とわたし

～2005年受難節～



十字架という事実

- 聖書以外の証言
 - タキトス (A.D.55-120 ローマの歴史家)
 - スートニアス (A.D.90-150 皇帝の最高秘書)
 - ヨセフォス (A.D.37-97 ユダヤ人歴史家)
- 約2000年前に、パレスチナ地域にイエスという人物がいたことと、彼が十字架刑に処せられて殺されたことは**歴史的事実**である



歴史的事実の意義

- わたしと関係のない事実
 - 「大化改新」「クレオパトラ」「秦の始皇帝」
- わたしと関係のある事実
 - 何かを学ぶことのできる事実
 - 偉人たちの生き方、「戦争」
 - 生き方を変える事実



歴史的事実の意義

- わたしと関係のない事実
 - 「大化改新」「クレオパトラ」「秦の始皇帝」
- わたしと関係のある事実
 - 何かを学ぶことのできる事実
 - 偉人たちの生き方、「戦争」
 - 生き方を変える事実

イエスの十字架は？



「表現死」としての十字架

イエスは十字架によって死ぬことを選んだ
人間の考え出した最もむごい殺し方
多くの人が目撃し、確認できる

イエスは十字架によって何かを成し遂げようとした
十字架でなければ成し遂げられない何か
イエスは十字架によって何かを伝えようとした
十字架でなければ表現できない何か



十字架と私

- イエスの十字架はわたしにどのような意味を持っているのか
- イエスの十字架からわたしは何を学んだのか
- イエスの十字架によってわたしの生き方はどう変わったのか



赦されなければならないこと

- 自分の中には汚いもの、歪んだもの、醜いもの、恥ずべきものがあると知っている
 - このまま地獄に行ったとしても文句は言えない
- イエスの十字架は、わたしの罪深さは自分で背負え切れないことを教えてくれた
 - わたしが地獄に行って済む問題ではない



赦されたこと

- イエスの十字架はわたしの身代わりであった
「実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。」
〈ローマ 5:6〉
- もしイエスの十字架がわたしの身代わりであったのなら、**確かにわたしは赦された**
「これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。」

〈マタイ26:28〉



神が黙って赦せばよいのでは？

- 十字架は赦された確証である

「神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」

<コロサイ 2: 14>



赦すべきこと

- イエスは隣人を赦せと教えられた

「イエスは言われた。『あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。』」

— <マタイ 18:22>

- わたしも赦さなければならない

「互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。」

<エフェソ 4:32>



十字架という事実

- どういう意味を持っているか？
- 何を学ぶか？
- 生き方をどう変えるか？

